

第24回 桜町3・4丁目及び周辺地区まちづくり協議会

日時：令和7年6月21日（土）

10時00分～11時30分

場所：ふれあいプラザさくら 2階 多目的室

参加者数：10名

※今後の協議会活動について、防災イベントの実施に向けて意見交換を行いました。

【意見まとめ】

今年度の防災イベントの実施に向けて

【防災イベントの企画内容について】

- ・地域特性を踏まえたイベント内容の検討などを、行政と市民が一緒に考えていく体制が望ましい。地域の防災意識の向上につなげるために、地区内の各所で火災が発生した場合を想定し、市民が実際に消火器を使用する発災型防災訓練も考えられる。
⇒発災型防災訓練は難易度の高い訓練であるため、まずは消火器の使用方法を覚えてもらい、徐々に高度な訓練を行っていきたい。（事務局）
- ・発災時の避難所の運営や準備に関しては、市民目線では分からないことが多いので、クイズを設けるなどして、参加者が気づきを得られるようなイベントにできると良い。
- ・東京都の各消防署では、ふれあいデーという防災イベントが開催されており、はしご車の試乗体験、防火服を着ての写真撮影などを行っている。訓練毎にスタンプをもらい、ポイントを貯めて景品と交換するといったイベントも行い、子ども連れの家族や若い世代が多数参加している。将来的にはそのようなイベントも行えるとよい。
⇒消防署との連携は調整に時間を要するため、今年度行うことは難しいが、子供が楽しむことが出来るスタンプラリー等を取り入れるといった視点は、今回のイベントでも検討したい。（事務局）
- ・親子連れを呼び込むには目玉となるものがあることが重要である。今年、川口市立グリーンセンターで行われた防災フェアは、消防車が展示されるなど、大規模なイベントとなった。同規模のイベントを開催することは難しいが、家族連れで防災イベントに参加してもらうことを目指して企画を考えたい。

【防災イベントの実施に関する工夫について】

- ・協議会活動の周知のためにも、参加者の多い桜町3丁目自治会の防災訓練と同日同会場にて防災イベントの開催を検討していきたい。
- ・自治会の防災訓練と連携できれば、普段交流を行わない地域住民がコミュニケーションをとる機会となる。
- ・自治会の防災訓練と協議会イベントの流れを連動したものにしたい。協議会イベントにゆっくり立ち寄るのが難しいのであれば、防災意識啓発パンフレットなどを配布するという方法も考えられるのではないか。
- ・自治会以外の住民にも参加を促す方法として、回覧以外の周知も行っていくのが良いのではないかな。
- ・防災イベントを行う際に民間の防災関係の会社がボランティアで参加してくれる場合もあるため、必要に応じて検討してみても良い。

その他

【自助・共助・公助について】

- 行政が市民の防災意識を高めるように動くことが大切である。行政による公助の役割が明確になることで共助・自助の考え方や役割が見えてくる。
- 桜町の特性や防災上の課題をまとめ、桜町独自の自助・共助の体制を作り上げるために、行政に協力を要請して進めていく必要があるのではないか。
- 自助・共助については日常生活の中で考えて意識づけていくことが大切である。
- 自助対策として最も重要だと感じたのは、食料とトイレの問題である。発災時におけるライフラインの復旧は、約３日間を要することもあるとのことだった。また、応急救護のための担架の作り方に関して学ぶことも重要である。
- 発災時の災害対応に関して、市民だけでは対応困難なことは、地域の民間企業と協定を結ぶなど連携を取っていくことが必要ではないか。